





# 文章の流れをつかもう

「みちくさ」の内容を、文章の流れにそって次のようにまとめました。

登場人物：ぼく（健ちゃん）・大介（大ちゃん）

じゆくからの帰り道、**①**つける。  
 〽で大介を見

・低学年Ⅱとても仲良し  
 ・五年生Ⅱ遊ばなくなった

大介が毎日川のこいに**②**ることを知る。  
 〽をあげてい

こいをつりあげる**③**  
 〽をさせられる。

大きいこいがかかった。

二人で**③**してこいをつかまえる。

「ぼく」と大介は**⑤**  
 〽な顔になる。

大介の**④**にまきこまれる。

大介といっしょのところをだれにも見られたくない。

協力  
 ペース  
 パンの耳  
 とく意  
 橋の上

# 言葉の意味を確にんしよう

次の言葉の意味を書きましよう。

⑦		⑥		⑤		④		③		②		①		★	
意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉	意味	言葉
	ゆう然と		とまどう		興奮		悪びれる		うつつうしい		あつけらかん		不覚にも		通称
	例 台風が来ても、ゆう然とかまえる。		例 とつ然りレーの選手に選ばれ、とまどう。		例 両チームの熱戦を、観客は興奮して見ていた。		例 失敗しても、悪びれることなく、笑っている。		例 あの人は、なれなれしくてうつつうしい。		例 弟は、しかられてもあつけらかんとしている。		例 不覚にも下級生のチームに負けてしまった。		例 この橋は、通称、大橋という。

正式な名前の他に、世の中で広く使われている名前。通り名。